

青ジソ（大葉）・赤ジソのカルテック栽培

(10アール当り)

| 時期 | 方法 | 資材 |
|------------|---------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 育苗床 | 地床の施肥（播種床・移植床とも） （セル・トレイは培養土をそのまま） | 地床の場合：1アール当り ラクトバチルス 60g 堆厩肥 200～300kg, 硫安 3kg（チッソ成分0.6kg） 畑のカルシウム 3kg これらを散布して耕しておく |
| 育苗中 | 葉上から散水 | 濃縮酵素液 1000倍液を適宜灌水（肥切れ時は ネオスリー 1000倍） カルテックCa液状 1000倍液 〃 4日ごと交互に ※本葉4枚、定植7日前頃、 カルテックCa 500倍液を散布 |
| 本圃の地力作り | なるべく早い時期に全面散布して耕起しておき、その後にはベッドを作ります | ラクトバチルス 600g … 排水・通気・保水・保肥性のよい肥沃な土に 堆厩肥2～3トン（なるべく多く） 硫安 60kg（複合肥料ならチッソ成分12～16kg） 畑のカルシウム 40kg（特に土壌pHが酸性の場合は増量） ※もし堆厩肥が少ない場合は 硫酸カリ 30kg 追加 |
| 本圃の整地後 | 整地・ベッド作り後に、ベッド上に散布 | 畑のカルシウム （または カルテックCa粒状 ） 40kg ※土壌pHによって、どちらかを選択してください。 ※カルシウムの施用量は 普通、地力作り時の全層混和とベッド上の施用を合計して 80kg（硫安量と同じ）にします。 硫安 20kg ※初期生長を速く進めます。特に秋冬の定植には効果的 |
| 定植時 | 定植直後の灌水の時に | 濃縮酵素液 10アール当り3リットル（500倍程度、適宜） ※初期の根張り促進 |
| 定植後20日間 | 初期の根張りとは質強化 | 濃縮酵素液 , カルテックCa液状 ※7日ごと交互に 葉面散布(各500倍) または灌水(2リットル) |
| 20～30日 | 収穫開始前の調節 | カルテックCa液状 500倍 葉面散布 |
| 収穫中(液肥の場合) | ①②を7日おき交互に定期施用 | ① 濃縮酵素液 2リットル + アミノ酸液 20リットル(N:1～2kg) 灌水 ② カルテックCa液状 500倍 葉面散布 または2リットル灌水 (生育状態により適宜増減します。摘み取り量の多い時は両方多く) |
| 収穫中(追肥の場合) | 1月1回 ※同時施用が効果的 | 硫安 20kg 畑のカルシウム 10～20kg (生育状態により適宜増減。摘み取り量の多い時は半月ごとに) ※追肥で調節する場合も、 濃縮酵素液 （根の強化液）と、 カルテックCa液状 の葉面散布は 半月ごとに使用することをお勧めします。 |

濃縮酵素液の効果：根を強化し、チッソ等の肥料の同化（消化）力も強くなる、

持続して旺盛に分枝・新葉を伸ばす、葉は青ジソなら鮮緑色で大きく、縮みが多く、葉縁の欠刻も深くなる

カルシウム（**畑のカルシウム**、**カルテックCa液状**）の効果：

葉の厚み・重みを増す、灰色カビ・菌核に強い、

香りが強く、ビタミン・精油成分が豊富で、日持ちがする